

競技上の注意

(一社)長崎県サッカー協会 第3種委員会

- 1 本大会は、公益社団法人日本サッカー協会競技規則及びユニフォーム規程により行う。
- 2 競技規則の厳守、フェアプレー第一を基本に考えプレーすること。
- 3 審判員の判定は、絶対であるので従うこと。
- 4 審判員批判や中傷を報道関係にしないこと。
- 5 時間厳守。キックオフの時間(前後半とも)。また、ゲーム中の悪質な時間かせぎをしないこと。
- 6 ユニフォームについて
 - (1) ユニフォームは必ず正副2着(シャツ2枚・ショーツ2枚・ストッキング2本)を、試合会場まで持参すること。
 - (2) ゴールキーパーのトラックスーツ(トレパン)の着用については、主審の許可を得ること。
裾、ポケット等にファスナーや危険物がついているものは着用しないこと。
 - (3) すね当ては、用具に含まれるので必ず着用し、PK方式になった場合も終了まではずさないこと。
 - (4) ショーツの下のアンダーショーツ(アンダーパンツ)は同色の場合に限り使用を認める。
 - (5) ショーツに番号を貼付する場合は、背番号と同番号を付けること。異なった番号を貼付している場合は、反スポーツ的行為として警告されることがあるので注意すること。
 - (6) ストッキングを止める用具については、表面に見える部分はストッキングと同色でなくてはならない。
- 7 選手交代について
 - (1) 交代要員は、第4の審判員席へ行き用具等の点検・氏名の確認を受けた後、第4の審判員の指示に従って交代すること。なお、退く選手は近くのゴールラインもしくはタッチラインからできるだけ早く退場し、入場する交代要員はハーフウェイラインより入場すること。
 - (2) 交代要員は、交代によって退く選手がピッチの外に出た後でしかも主審の合図があるまではピッチ内には入れない。
 - (3) 交代は、交代する選手が出て交代要員がピッチ内に入ったときに完了する。従って、その前までであれば、交代を延期したり及び中止したり、退く選手や交代要員の変更は可能である。
- 8 ベンチからのコーチについて
 - (1) 試合中のコーチはベンチからのみ許可される。
 - (2) テクニカル・エリアを設定していない会場は、ベンチより前に出ることはできない。
 - (3) 判定に対する不服の言動があった場合は、退席させられることがある。
 - (4) 試合中、監督・コーチ及び交代要員は必ずベンチに着席すること。
 - (5) 退場を命じられた競技者は、ベンチに入れない。
- 9 負傷者の処置について
 - (1) ゲーム中に負傷者が出て、主審より担架を入れるかもしくは役員に入るように指示があった場合は役員1名と担架が同時にピッチ内に入ることができる。
 - (2) 役員がピッチ内に入る目的は、治療するためでなく、ゲーム続行可能か不可能かの判断をするためである。
 - (3) ゴールキーパーの負傷についても同様だが(場外へ搬出)ゴールキーパーが復帰するか、交代が成立するまではゲームは再開されない。
- 10 競技中の飲水について
 - (1) 競技中の飲水は、競技の停止中にタッチライン近くと、ゴールの後ろにおいてのみ許される。
 - (2) 保冷の効くような固い容器を使用するケースが見られるが、ペットボトルのような柔らかい容器のみ認められる。
ただし、試合中の飲水タイム時には、容器は指定しない(個人の水筒でも可能)。
容器の中は熱中症対策の一環で、真水及びスポーツドリンク等の飲み物並びに小さい氷(冷蔵庫で製氷される2~3cm角程度の大きさの氷)は認められるが、芝生及び人工芝、全天候型競技場においては、施設保持のため真水以外は会場で流すことはできない。
- 11 延長戦について
延長戦がある場合は、延長戦に入る前に3分程度の休憩をとる(延長戦のハーフタイムはとらない)。選手はピッチ内から出ることはできない。
- 12 PK方式について
PK方式になった場合は、選手はピッチ内から出ることはできない。自軍ベンチ前のピッチ内で1分程度の休憩が許され、その時間内に飲水及び監督の指示を受ける。